

書評

古代日本の鉄と社会

東京工業大学製鉄史研究会

本書は、東京工業大学の研究者が中心となり、大学人のみならず企業の研究者も参加して、文部省科学研究費の援助をうけて行つた研究の報告書である。

内容の中心は、北関東の製鉄遺跡の発掘にある。まず、発掘を現代の可能な限りの科学的手法を駆使して慎重に行い、得られたデータも同様に慎重に解析されて行く。これには、分析化学、地球物理、地質、金属の各専門家が参加している。そして、この遺跡がどのような社

会的役割を果たしていたのかを、考古学、科学史、技術史の専門家が考察して行く。

古代製鉄法を遺跡の発掘から推論するのみでなく、実験的に確認するため伝承炉の復元実験を行つているのも本研究の特色である。また、炉の復元実験だけではなく、日本刀のわずかに残された一部分に、最も近代的な分析技術を適用し、その刀の鋼の出生地を推定することにより、技術伝承の道を解明するための一つの鍵を提供している。さらに、その刀は実用刀であつたのか儀礼刀であつたのかを推定し、当時の文化をも推定している。新しい分析技術が、自然科学を進歩させるだけでなく社会科学や人文科学も進歩させることを示している。

(雀部 実)

平凡社選書 78 定価 1,800 円

昭和 57 年 12 月 10 日 平凡社発行

新刊案内

データシートシリーズ 4

構造用鋼板の破壊靱性値

編集 日本鉄鋼協会標準化委員会データシート部会編

発行者 日本鉄鋼協会

定価 会員 3,000 円(送料実費)、非会員 4,000 円(送料実費) A4判 162 頁

本会では、我が国で製造される鋼材について、使用者がその性質を正しく把握し、適切な材料使用を容易にするため、鋼材の諸性質に関するデータを収集し、これを発行しております。

本データシートは我が国における代表的構造用鋼板 JIS の SM, SPV, SLA, NK の船体構造鋼板、WES の溶接構造用高張力鋼板など(原子力圧力容器用鋼板、新制御圧延法による鋼板は除く)母材に限定し、その破壊靱性試験のデータを次の通り収集している。

Vノッチシャルピ試験 499 件、低温引張試験 119 件、Deep Notch 試験 123 件、COD 曲げ試験 90 件、二重引張試験又は ESSO 試験 89 件、NRL 落重試験 108 件

データシートシリーズ 1

	会 員	非会員
(第1集) 質量効果を考慮した機械構造用鋼の機械的性質 (S35C, S45C, S55C, SCM3, SCM22)	600 円	1000 円
(第2集) " " (SCr4, SCr22, SCM4, SCM21, SMn3, SMnC21)	1000 円	1400 円
(第3集) " " (SCM2, ASCM17H, SCr2, SNC2, SNC21, SNCM8, SNCM21, SNCM23)	1500 円	1800 円
(第4集) " " (S35C, S45C, S55C, SMn3, SCr4, SCM2, SCM3, SCM4, SNC2, SNCH8)	2000 円	2500 円

データシートシリーズ 2

伸び値におよぼす試験片の寸法効果 550 円 950 円

データシートシリーズ 3

高温引張試験 1400 円 1800 円